国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 24 年 8 月 29 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高 公久
電話番号　　03-5572-0233

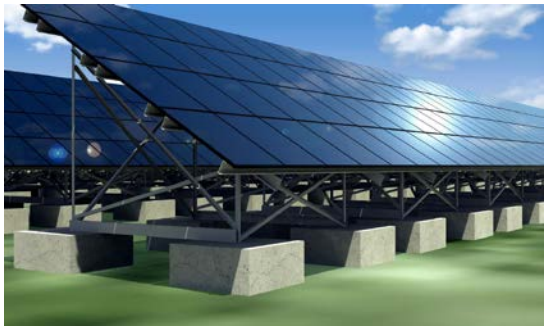
新潟県上越市における太陽光発電所「INPEXメガソーラー上越」の建設について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、新潟県上越(じょうえつ)市にある当社グループの帝石トッピング・プラント（以下、TTP）敷地内に当社グループ初の太陽光発電所（以下、「INPEXメガソーラー上越」）の建設を決定しましたので、お知らせいたします。

当社は、本年5月の「中長期ビジョン」でも公表しているとおり、成長戦略の第三の柱として再生可能エネルギーへの取り組みを強化する方針であり、今般の太陽光発電事業への取り組みはそれに沿ったものであります。



「INPEX メガソーラー上越」　完成予想図



パネルイメージ図

「INPEXメガソーラー上越」は、TTPの製油所敷地の一部（46,710m²）を利用して最大出力約2,000キロワット（2メガワット）の太陽光パネルを設置するものです。予想される年間発電量は、一般家庭約750世帯分の年間電力消費量に相当し、また発電した電気の全量を東北電力株式会社へ売電する予定です。本年10月より本格工事に着手し、2013（平成25）年3月までに完工、同月中の発電開始を目指します。

当社は、2007（平成19）年5月より、新潟県長岡市に位置する国内最大級のガス田である

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

南長岡ガス田（越路原（こしじはら）プラント内）に建設した越路原発電所において、当社ガス田から産出される天然ガス及びコンデンセートを燃料として発電事業を行っておりますが、東日本大震災以降高まる電力供給不安の解消に向けて太陽光発電への期待がより一層高まっている中、本年7月1日から政府による再生可能エネルギーの全量買取制度が施行されたことも踏まえ、新潟県上越市をはじめ地元の皆様のご理解の下、今回の「INPEXメガソーラー上越」の建設を決定したものです。当社は、地域の皆様への安定したエネルギー供給への取り組みを一層強化してまいります。

以上

「補足・関連情報」

「INPEXメガソーラー上越」の計画概要

名　称　：「INPEX メガソーラー上越」
建設場所：新潟県上越市大潟区渋柿浜 535
敷地面積：46,710m²
設置面積：16,421m²
年間予想発電量：約 248 万 kWh/年（キロワット時/年）
　　一般家庭約 750 世帯分の年間電力消費量に相当
最大出力：約 2,000 キロワット（2 メガワット）
　　太陽電池モジュール容量約 2,330 キロワット
太陽電池ﾓｼﾞｭｰﾙ：ソーラーフロンティア株式会社
設　計・施　工：千代田化工建設株式会社
運転開始予定：2013（平成 25）年 3 月